

第9回 学生サステナビリティ・フォーラム

各キャンパス間、学部・学科や専門分野の枠を超えた学生同士の研究発表・交流を目的とした「第9回 学生サステナビリティ・フォーラム」が、2016年3月15日(火)に茨城大学日立キャンパスにて開催されました。今年は日立キャンパスから27名、水戸から11名、阿見から20名の学生及び関係者を含め73名が参加しました。

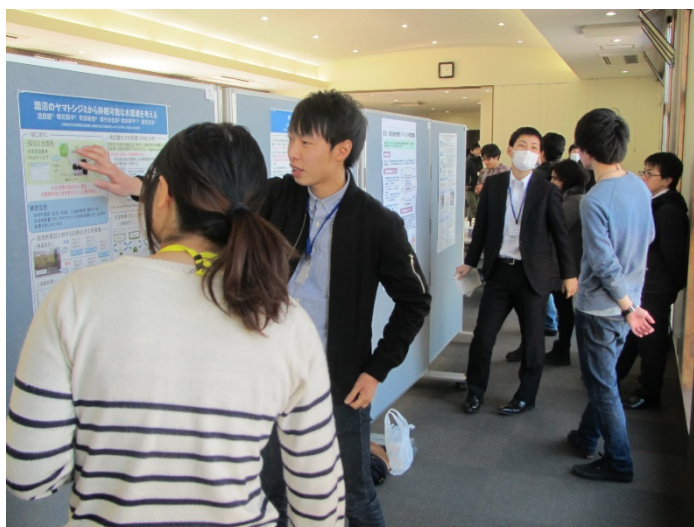


第一部のシンポジウムでは、地元である茨城県常総市で発生した甚大な水害の現場を実際に経験し、支援を続けている「災害NGO結」の前原土武氏と「茨城NPOセンター コモンズ たすけあいセンターJUNTOS」の安永智也氏をお迎えし、「平成27年関東・東北豪雨 水害現場にボランティアとして関わること」をテーマに常総市の現状や今後の課題等について講演して頂



きました。学生からはボランティアとして自分達がこれからどのように関わっていくべきか、また災害のプロであるお二方がどのように活動しているのか等、質問が数多く寄せられ、講演者の方々の回答を熱心に聞く姿が印象的でした。

今年の第二部は学生が主体となり、前半・後半に分かれてポスターセッションが行われました。学生のアイデアから各キャンパスの銘菓を並べて各キャンパス間の交流のきっかけとすると共に、和やかな雰囲気の中でその分野には素人の学生に分かりやすく説明しようと苦心する学生の姿や、他分野の発表に興味深く聞いて質問をしたり、ポスターのレイアウトに感心したりする学生の姿が会場内で多く見られました。



最後に、参加者投票により選ばれた 4 件の発表に対する表彰を行い、フォーラムは盛況のうちに幕を閉じました。

最優秀賞：中津祐也さん（農学部）

「のらボーイ&のらガールの食農教育プロジェクト 平成 27 年度の活動とその成果」

優秀賞：塩川佳恵さん・榎本みづきさん（人文科学研究科・理工学研究科理学専攻）

「2015 年度国際演習～廃棄物班の活動～」

優秀賞：山崎正稔さん（工学部）

「EOS-Terra/ASTER を用いたマングローブ域抽出に関する研究-ミャンマー沿岸域を対象として-」

優秀賞：篠田優花さん（農学部）

「タヌキのロードキルと周辺のランドスケープの関係性」

